

アフガニスタン山の学校だより **17号**

第7回 総会 & 活動報告会 開催日決定！

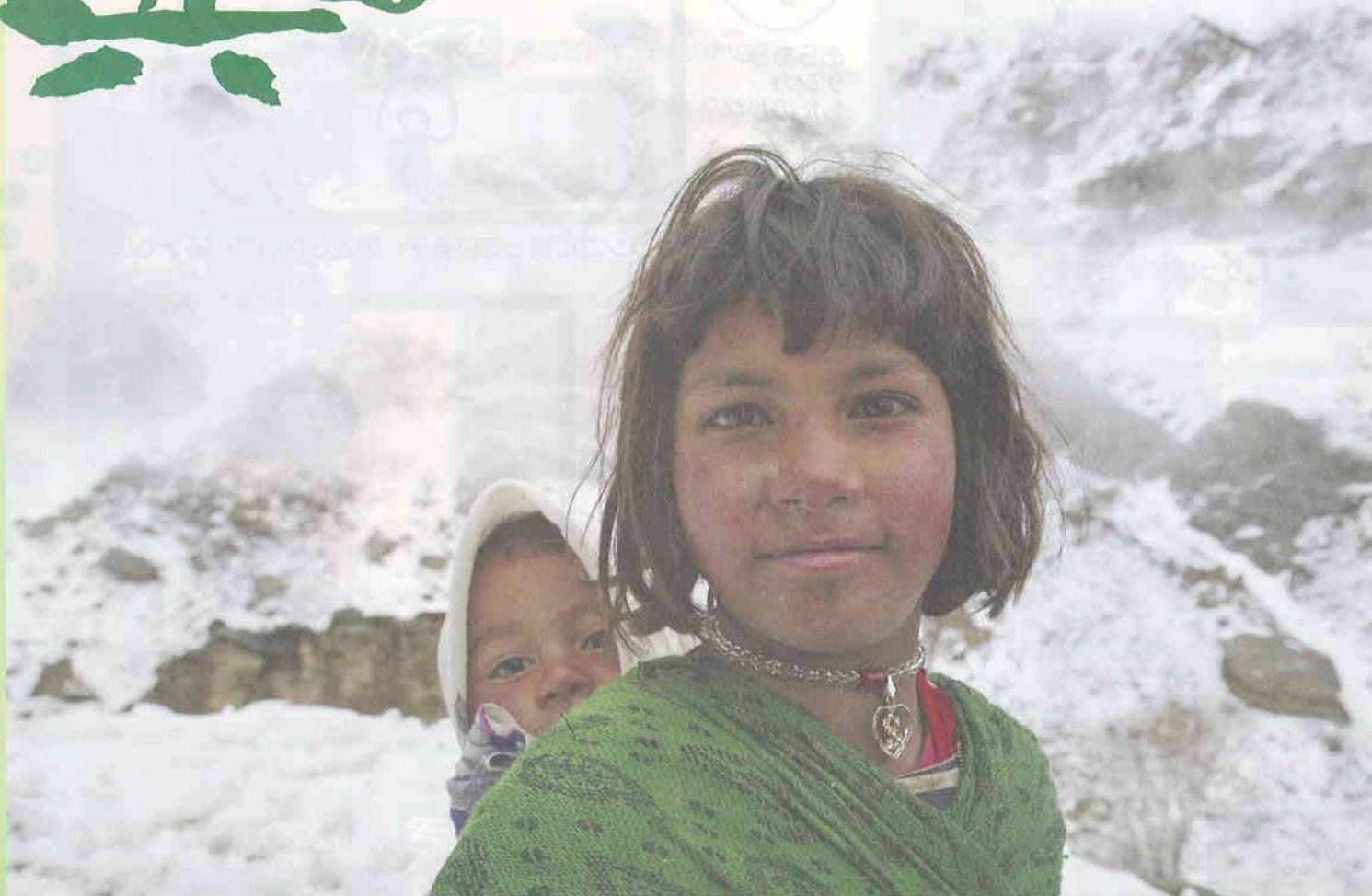
9月25日(土) 武蔵野芸能劇場(東京都武蔵野市)

10月2日(土) 高槻市民会館文化ホール展示室(大阪・活動報告会)

お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください！詳細は次号にてお知らせいたします。



未来への翼に乗って～子どもたちの絵特集～



子守をするサブザゴル、7歳。山の学校の1年生。パンシールはタジク人ばかりでなく、ハザラ人(蒙古系)も住んでいる。(2009年4月撮影)

皆様、お元気で過ごしてでしょうか。この文章を書いて
いる3月末現在、私たちは4月上旬からの公式訪問に向
けて準備を進めているところです。3年前にプレゼント
した手袋を子どもたちが大切に使用しているのを見て、ス
ワニーさん*にお願ひし、今春も手袋(もちろん冬用です)
を持参することにいたしました。子どもたちはよく手を
使って働かせいか、日本の子どもたちに比べると、大きく
厚い手をしていきます。朝早く牛や羊を放牧させ、畑作りの
ために地面の石を掘り起こし、鍬を振り上げます。泉や川
から水を汲んで家まで運びます。パン生地を伸ばし、カ
マドの中に貼りつけ、焼き上がった熱いパンを素手で取
り出します。ひび割れた手に、クルミの渋が黒く染み込ん
でいることもあります。でも、その手は、家の仕事を手伝
う「誇り」にあふれた手です。そして、ペンを握って勉強す
る手でもあります。そんな子どもたち全員に今年日本
から3色ボールペンを持参し、プレゼントしたいと思っ
ています。

日本からのプレゼントを手にした子どもたちのうれし
そうな顔が今から目に浮かびます。屈託なく、思い切りは
じける笑顔に、こちらまで幸せな気分になります。

出発の荷を整理しながら、「昨年4年生は留年が多
かったけれど、無事、進学できただろうか。通学時に土砂
崩れなどの事故に遭っていないだろうか。物価高のなか
で、生活は大丈夫だろうか」と思いを巡らせている時、サ
フダル校長から、「いつ来るのか」という電話がありまし
た。腰を痛めカプールの病院に来院というサフダルでし
たが、話したかった用件は「子どもたちはみんな元気で、
春の公式訪問を心待ちにしている」ということだったよ
うです。

降り積もった雪が少しずつ溶け始め、日一日と暖かく
なる春の陽気に子どもたちも心をときめかせていること
でしょう。この会報が皆様のお手元に届く頃には、少しず
つ咲き始めた可憐な高山植物の花を手に、通学している
ことでしょう。次回会報での子どもたちの最新報告を楽
しみにお待ち下さい。

アフガニスタン出発の前に 代表

長倉洋海

* (株)スワニー: 2006年より手袋を提供いただいている香川県東かがわ市のバッグメーカー

遊び



りっぱな先生です



あらあら、ケンカしたのかな？

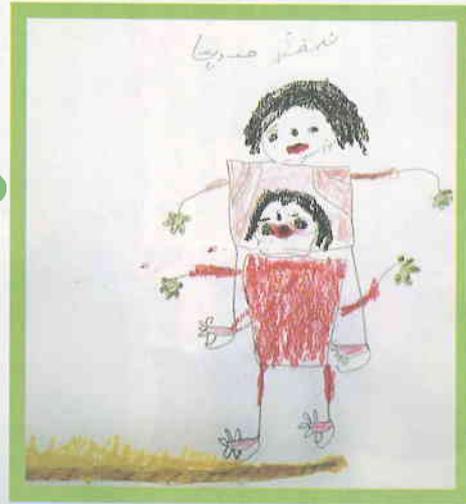


ブランコに乗っている子、縄とびをしている子もいるね

放牧



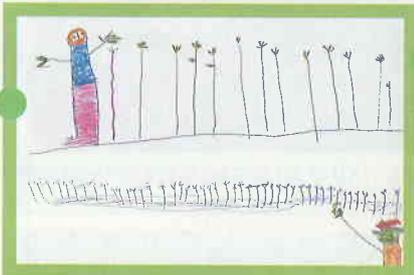
子守



荷物運び



コバのおしりがかわいいね

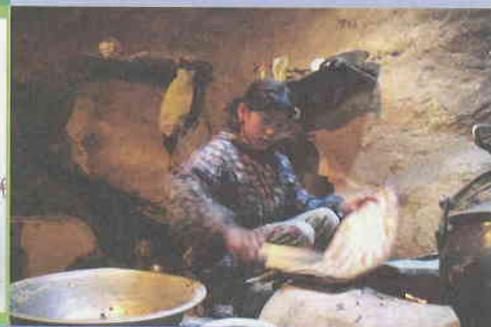
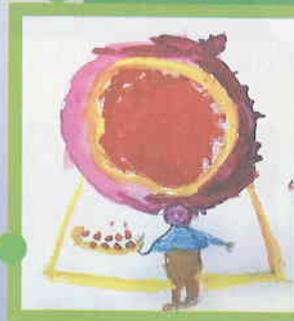


刈り入れ



パン焼き

かまどの炎！



就寝



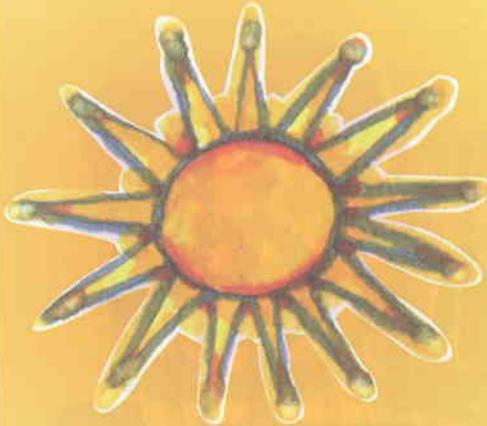
おやすみなさい、また明日

夕ご飯



みんなであっただきまーす！





未来への翼に乗って

昨年の現地訪問の際に子どもたちに描いてもらった個性豊かな絵。活動報告会の会場にも原画を展示いたしました。今回は会報をギャラリーに見立ててみました！ポーランドの山の学校に通う子どもたちの一日をお楽しみください。

授業



水くみ 兄弟で川に行くのかな？



雪がき



放牧



通学

馬に乗っている子もいるよ
(学校が終わった後に家の用事で市場へ行くため馬やロバで乗る子もいます)



会員の皆さまの声

会費や寄付を振り込んでくださった際にいただいたメッセージをご紹介します。

◎「ばあーる」、いつも楽しく読ませていただいています。アフガニスタンに一刻も早く平和で安心な日々が戻ることを祈っています。(会員・女性)

◎アフガニスタンの状況はますますきびしくなっていますが、未来への希望をつなぐ貴会の活動をささやかながら応援しています。(会員・女性)

◎還付金の一部を寄付します。アフガニスタンの復興にはまったく税金が役立つていない感は年々つよります。(会員・女性)

◎山の学校でご活用ください。癌から生還したことも祝して。(会員・男性)

◎偶然パネル展を拝見しました。これも何かのご縁かと思えます。気持ちばかりですが、寄付します。(会員・女性)

◎会報いつも楽しみにしています。鹿児島なので報告会等に参加できないのが残念です。(会員・女性)

◎長倉さんやその意志に賛同するみなさんと一緒に少しでもアフガニスタン支援ができればと思います。(会員・男性)

◎三越の(長倉さんの)写真展を拝見いたしました。女子への教育の機会をぜひ守ってほしいです。(一般・女性)

◎友人の誘いで、大阪高槻でこの会の報告会に2回参加しました。代表の長倉さんは十数年前から本を読んだり講演会に足を運んだりしていた共感者ファンです。アフガニスタンの人たちと少しは近くなれるかなと思入会します。(一般・女性)

◎今年国から支給された定額給付金、私どももすでに年金生活者ではありませんが、すぐに困る状況ではなく何か役立てたいとずっと考えておりましたが、ようやくその方法を見つけた次第です。

ほんのわずかですが、支援の一部に加えていただきたく寄付させていただきます。(一般・女性)

◎子どもたちに学ぶ喜びと夢を！

◎山の学校の子どもの笑顔を出しながら私もこれからたくさん学びたいと思っています。

◎先日、長倉さんの写真展「微笑みの降る星」を観ました。その中に、アフガニスタン山の学校の子どもの姿を写したものがあり、ひたむきなその姿に胸を打たれました。どんな厳しい状況にあっても夢を持って生きている子どもたちのためにささやかでも何かしたい気持ちになりました。

定期的に定額給付金の支給と重なりこのような応援メッセージとともにたくさんの方の寄付をいただきましたが、我が会に対する忌憚のないご意見などもぜひお寄せいただければと思います。

山の学校ホームページ
「アフガニスタン耳より情報コーナー」より
(<http://www.h-nagakura.net/yamanogakko/>)

カジさんのウェブサイト 「グッドアフガンニュース！」

みなさん、こんにちは！ 戦後の復興に苦闘するアフガニスタンのことが、日本の新聞やTVで取り上げられることは本当に稀です。たまに報道される内容は、テロや汚職や麻薬……暗澹たる気持ちに沈みます。日本で、ありのままのアフガニスタンの今を知ることは本当に難しい……。そこで、今回はウェブサイト「グッドアフガンニュース(Good Afghan News)」(<http://www.goodafghannews.com/>)をご紹介します！ 米国に移住したアブドラ・カジ(Abdullah Qazi)さんは、母国アフガニスタンの暗いニュースばかりを見るのが嫌になり、アフガニスタンの良いニュースを伝えるウェブサイトを開発。彼曰く、「このサイトは良いニュースだけを伝えるという点で他とは違うんだ。悪いニュースは掲載しない、他で十分報道されているからね」とのこと。是非ちょっとのぞいてみてください！

各国からの復興支援で各地に道路や橋やダム、かんがい設備、病院、学校などの建設が進んだことや、多くの女の子が学校へ通うようになったこと、ある州では麻薬の原料となるけし畑がピスタチオ畑に変身したこと、キックボクシングのアジア大会でメダルを7つ(!)も獲得したこと、点字の雑誌が初めて発行されたこと……等など、みなさんをほんわかしたあわせな気持ちにしてくれること間違いなし！ 頑張れ、カジさん！

※ご紹介したサイトは英語のみとなりますので、今後ホームページや会報の場を借りて少しずつニュースをお伝えできたらと思っています。(HP担当・倉田奈古)

長倉洋海撮影2010年カレンダー「子どもたちの大地」販売へのご協力ありがとうございました

本紙16号でご案内した直後から、JVC(日本国際ボランティアセンター)に多くの会員の皆さまがカレンダー購入の申し込みをしてくださりました。また、総会や大阪現地報告会などでも大変好評でいろいろな方々にお買い求めいただき、事務局では追加注文したほどでした。その結果、収益金の一部225,300円がJVCより本会へ還元されましたことをご報告いたします。今回のカレンダー販売の取り組みに際しまして、会員はじめ多くの方々にご協力いただきましたことを心より感謝いたします。ありがとうございました。



事務局から

●2010年度分割会費納入の郵便振替用紙を同封させていただきました。納入金額は封筒の宛名ラベル下段の数字ですのご確認の上、指定期日までに納入をお願いします。なお、残額会費を一括納入されてもかまいません。

●不要切手、書き損じはがきのご提供、ありがとうございます。前号での提供のお願いに対して、多くの皆さまよりたくさんお送りいただきました。早速、今回の会報送料として活用いたしました。ご協力に感謝するとともに今後ともどうぞよろしくお願いたします。

●支援終了の2014年まであと4年となりました。どのような形で支援を終えるかということを含めて、今後の活動について皆さまのご意見やお考えなどをお聞かせください。お待ちしております。

●住所変更の場合は、お手数ですが事務局にご連絡をお願いいたします。